

障害者雇用担当官の任命と育成へ

障害者雇用サービスが全国に広がることを目指して、5月8日～10日の3日間で、労働省が全国に持つ雇用事務所28か所にそれぞれ任命された障害者雇用担当官に向けて、ジョブコーチ研修を行いました。また、担当官としてどのような役割を担うかを決め、月毎の報告様式など、現在労働省内で検討されています。

障害者雇用担当とはいえ、すべての人は他の業務と兼務になるので、その兼ね合いや、今後労働省本部がいかにモニタリングやサポートを行い障害者雇用を進めていくかが課題となります。



研修風景



全国から集まった障害者雇用担当官

シリア女性障害者の自発的活動へ

シリア難民女性障害者グループとその母親に向けて、自立活動を促すステップの一つとして2日間のワークショップを開催しました。現在直面する課題を整理し、どのようにすれば解決できるかなど、自分で考えをまとめて話すことを促し、自発的な活動への一歩として話し合いをしました。今後の活動はグループとして目的と活動を設定し、互いにサポートしつつ進めていくことになっています。



ワークショップの中で討議をするシリア人女性たち

モールで知的障害を持つ職員が活躍

ヨルダンで大手のショッピングモール、Sameh Mall では、障害者雇用に積極的で、以前から身体障害や聴覚障害を持つ職員を雇用しています。今回あるNGOのジョブコーチによる支援により、2名のダウン症を持つ職員の方が雇用され、カスタマーサービスやレジ補助など、裏方ではなく、直接接客をする職員として、現在活躍しています。「やりがいを感じていて、楽しい」と話してくれ、同僚も彼らの働きぶりに満足、ということでした。


荷物預かります↑
袋詰めします→
